

就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	つばさ上越	事業所番号	1510300815
住 所	上越市本町3丁目2-28平安Gビル2F	管理者名	八木勇四郎
電話番号	025-520-5882	サービス管理責任者	八木勇四郎

企業名 NBファーム様

地域連携活動の概要	
＜活動内容＞ 活動場所・実施日程・実施した生産活動 ・施設外就労の概要・利用者数 等 〒944-0331 新潟県妙高市大字小原新田253番地 NBファーム様(ビニールハウス内での大葉栽培) 平成30年3月1日 業務委託契約取り交わし済 2ヶ月に20日程度 株切り倒し作業、株搬出作業、根搬出作業、ノズル点 検作業、土入れ作業等 1日6名×20日間 延べ120人程度	＜活動の様子＞
＜目 的＞ 地域連携活動のねらい・地域連携活動のメリット ・対象者にとってのメリット 人手不足の企業様と就労の機会を求める事 業所との利害関係の一致から業務委託契約 を結ぶ。 地域連携を行うことで様々な就労経験を積む ことが出来る。また利用者にとっては、事業所 外での作業を行うことで就労に対する自信を 培うことが出来る。	活動内容は別紙に掲載します
＜成 果＞ 1. 安定した就労先の確保 2. 収益性の高い仕事の確保 3. 労働時間が延びることにより賃金向上を 図れる 4. 事業所外で就労することにより緊張感を保 ち、一般就労をしたような感覚を得られる 5. 地域連携での就労を通して、自分自身が 働けることの自信を実感出来る	※令和3年度の実績を踏まえて、令 和4年3月には、NBファーム様との打 合せを行い、令和4年度も引き続き、 地域連携を行える見込みとなる。

① 株切り倒し作業

I 株切り倒しの様子



剪定or枝切はさみを使い大葉を切っていく。

II 株切り作業の様子

根元に近い枝葉を切り落とす。



マルチ剥ぎや株起こしをしやすいするため、マルチから約10センチ程度を切り落とす。



仕上げ状態



Ⅲ 作業全体の様子



※作業上の注意

- ① 刃物を扱う作業となりますのでケガや事故には十分注意してください。可能であれば自分の手持ちのものを持参いただいてもかまいません。
- ② 声をかけ合いながら作業を行きましょう。特にこの作業は大葉が生い茂っているので周囲が見にくく思いがけない事故につながる可能性があります。自分の位置を知らせることや作業の確認を行うためにも声をかけ合いながら作業を行ってください。

② 株搬出作業

I 株搬出作業前



II 株搬出作業



III 大葉株搬出後

※作業上の注意

①重機での運搬となるので周囲に充分注意して作業を行ってください。

②運搬道具等も使用しながら行う場合もあります。



③ 根切り作業

I マルチ剥ぎ作業



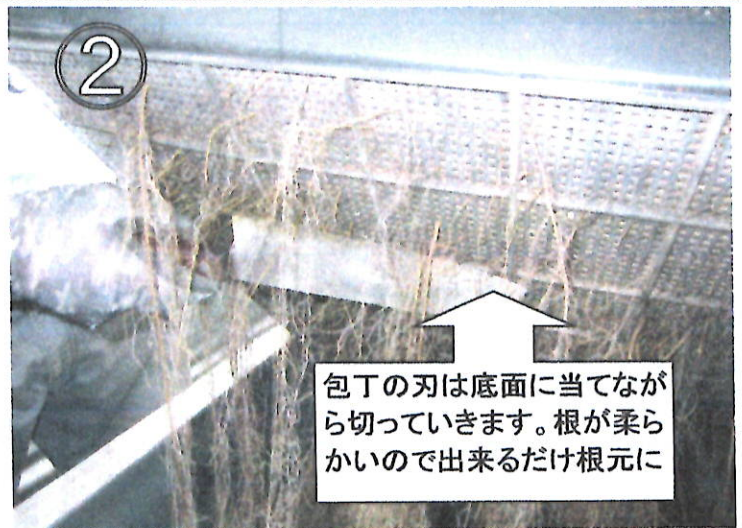
II 不織布切り作業



パレットをつなぐ不織布を切っていきます。

Ⅲ 根切り作業

お互いレーン同士で向き合いパレットを持ち上げます。持ち上げたら包丁でパレットに絡んでいる根を切ります。包丁の持ち手は順手、逆手どちらでもOKです。



Ⅵ 根起こし作業①



大葉の株をパレットから抜きます。

④ 根搬出作業

I 根起こし作業②



II 根巻き作業

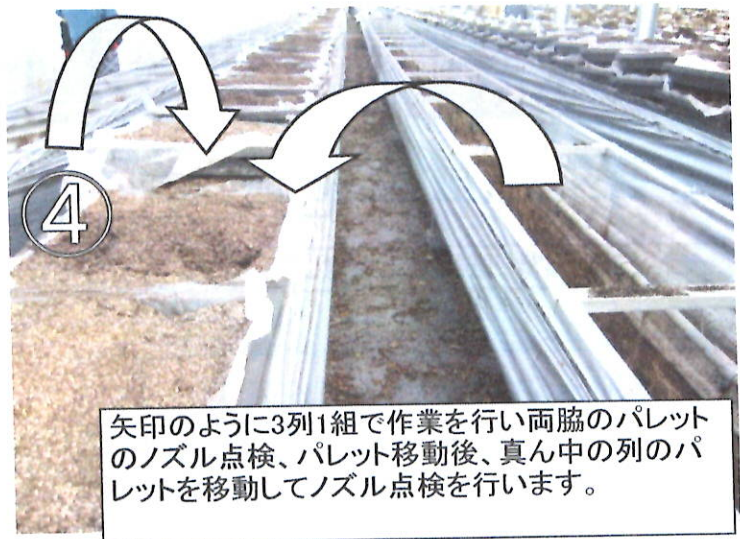


III 根搬出作業

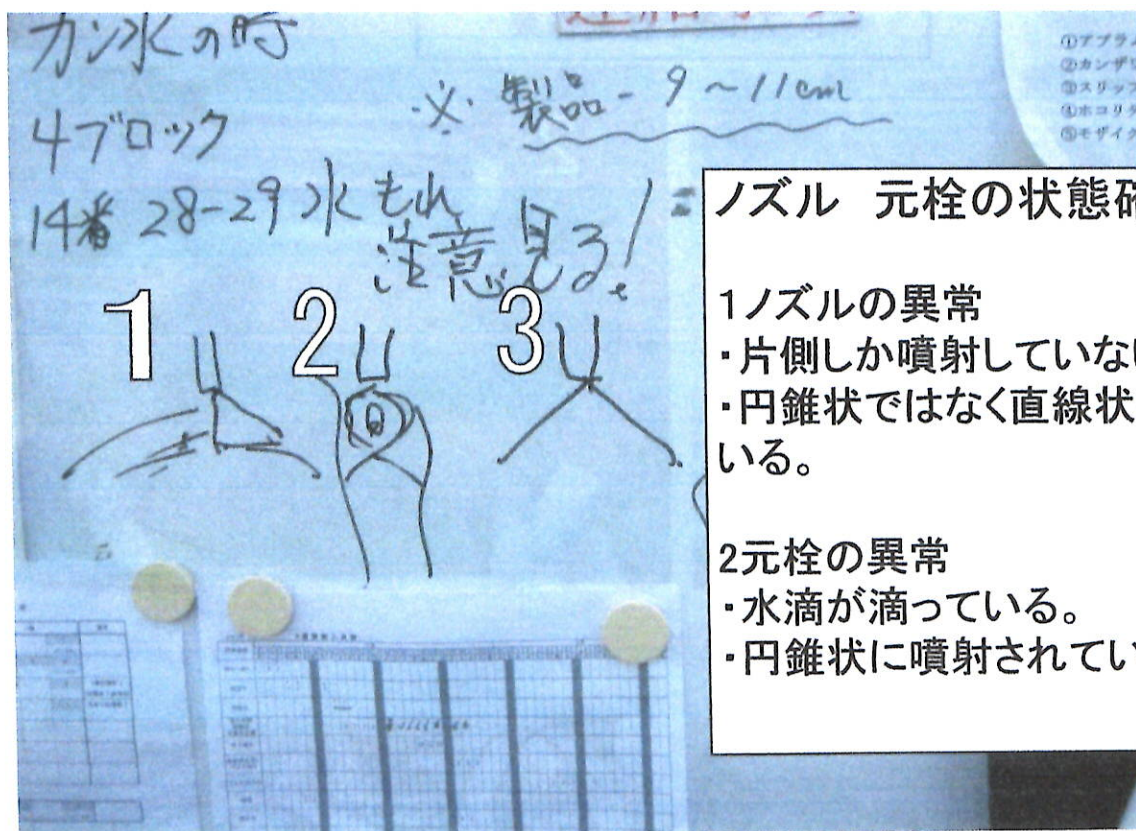


⑤ ノズル点検作業

I パレット移動作業



Ⅱ 状態点検作業



ノズル 元栓の状態確認

1 ノズルの異常

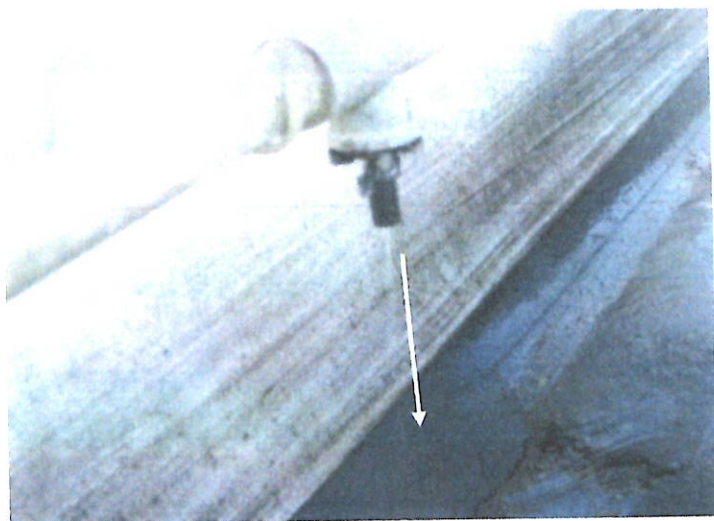
- ・片側しか噴射していない。
- ・円錐状ではなく直線状に噴射している。

2 元栓の異常

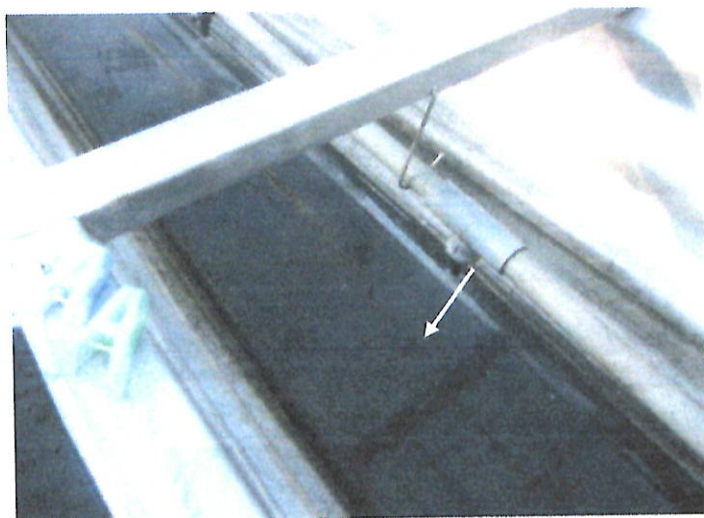
- ・水滴が滴っている。
- ・円錐状に噴射されていない。

Ⅲ ノズル 元栓異常確認

ノズル異常 直線状で噴射しています。



ノズル異常 直線状で噴射しているため水の輪ができてます

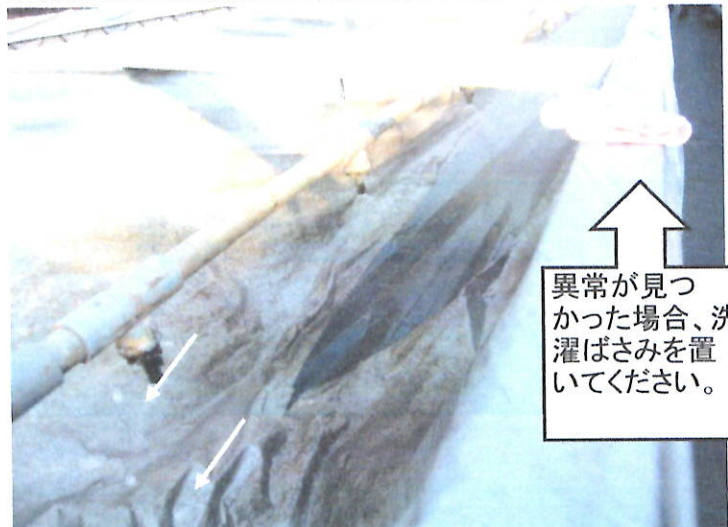


円錐状に養分が噴射されず直線状の場合、狭い範囲でしか根に届かないため生育に影響が出たり、水流が強く根を痛めることもあるためノズル交換を行います。

元栓異常 元栓から水滴が滴る



元栓異常 元栓から水滴が滴る



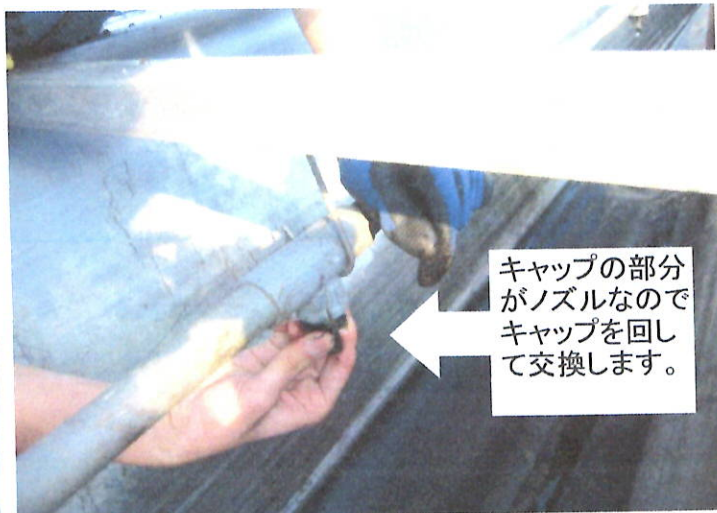
元栓交換しないといずれ破断し漏水する可能性が高くなります。また、経費上無駄が発生することもあり得るため見落とし無いようによく観察してください。

IV ノズル 元栓交換作業

ノズル交換(吹き出し口)作業



ノズル交換(吹き出し口)作業



元栓交換作業



元栓交換作業



⑥ 不織布交換 & 土入れ作業

I 不織布交換

① 箱掃除



② 箱セット



③ 不織布敷き



④ 不織布敷き2



不織布は四隅まできっちり敷布してください。

II 土移動



既存の土を移動してパレットに入れます。

土移動後、1人は箱掃除、一人は土慣らしを行います。声をかけあい効率よく作業を進めましょう。

⑦ マルチ上げ&培土運搬作業

I マルチ補修作業



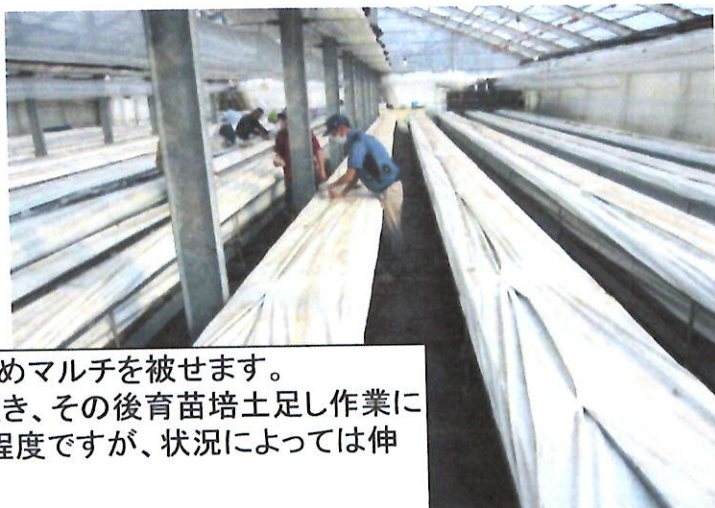
チェックを行いマルチの破損や破れがあったら補修を行います。



II マルチ上げ作業



培土に養分を行き渡らせるためマルチを被せます。
ここから4～5日程度工程が空き、その後育苗培土足し作業に入ります。通常の工程は2日程度ですが、状況によっては伸びる可能性もあります。



III 培土運搬作業



育苗培土足しのための運搬作業。



⑧ 育苗培土足し作業

I 土配り作業



1袋当たり13パレット前後土を足していきます。培土の多少は後程調整します。なるべく通路を汚さないように。



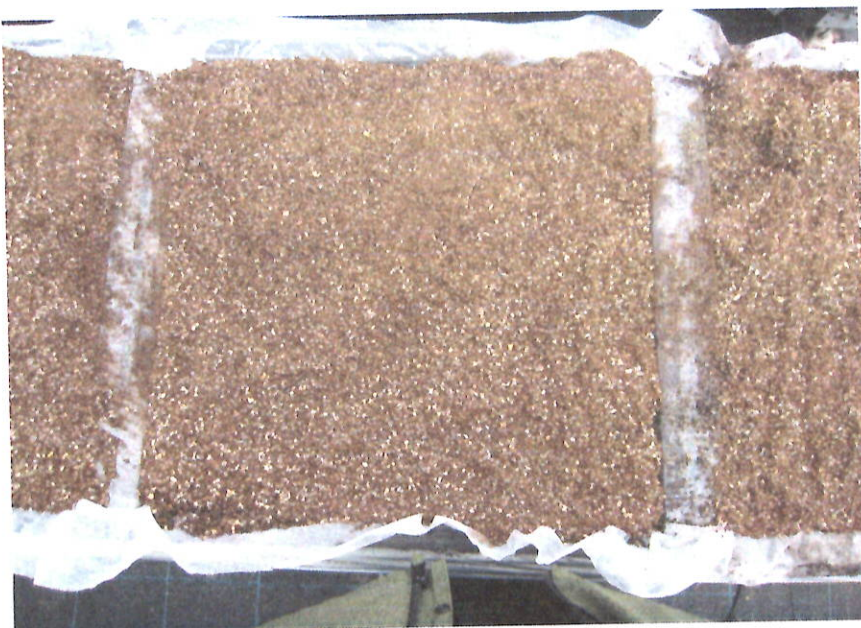
II 土慣らし作業



各四角の不織布を持ちながら培土を角→パレット端と入れ中心が少し盛り上がるように均したあと、ギュッギュッと6割くらいの力でパレット全体を押します。硬すぎると芽が出にくくなりますので若干柔らかいかな・・というくらいが丁度よい感じです。培土が余ったり足りない場合は調整をし



III パレット全体の様子



パレットのチェック

・4角、縦横ともに隙間なく培土が行き渡っているか

・パレットの中心部が盛りあがっているか(5mm程度。水はけをよくするため)

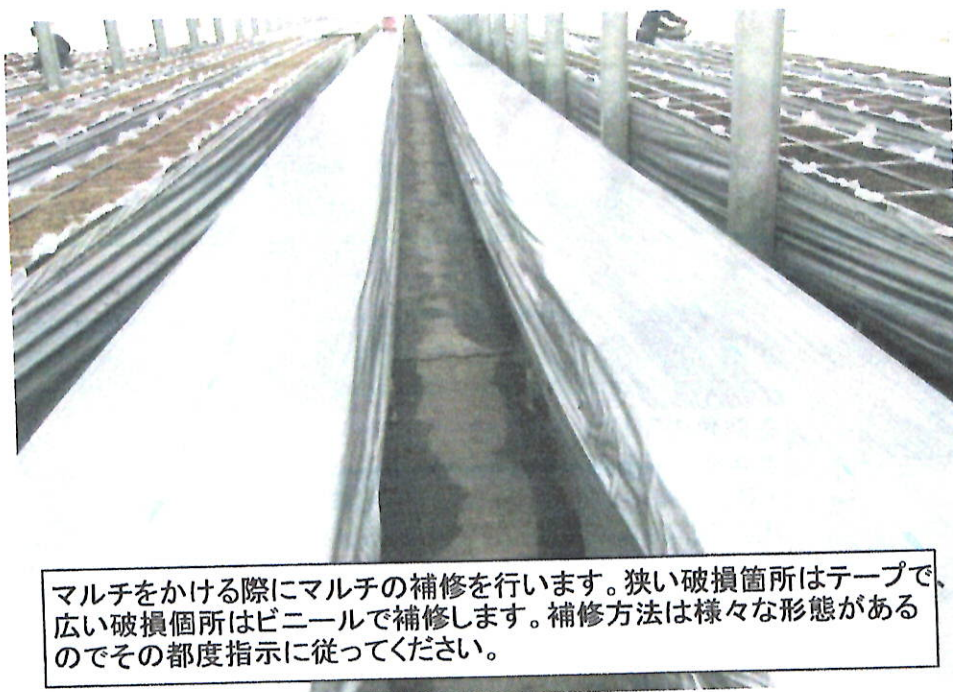
・適度な力で押され固まっているか

IV ホース設置



株を分けるためのホースを設置し、その後マルチを被せて作業終了となります。

V 作業終了



マルチをかける際にマルチの補修を行います。狭い破損箇所はテープで、広い破損箇所はビニールで補修します。補修方法は様々な形態があるのでその都度指示に従ってください。